

平成28年度 第70回 関東高等学校女子バスケットボール大会 参加報告書

東京都高体連女子部 西村明穂

1. 派遣期間 平成28年6月3日(金)～5日(日)
2. 競技会場 高崎市浜川体育館(Aブロック) 6月4日(土)・5日(日)
高崎市中央体育館(Bブロック) 6月4日(土)
3. 参加チーム 群馬県 : 桐生市立商業高等学校 / 前橋市立前橋高等学校
県立高崎女子高等学校 / 県立高崎商業高等学校
茨城県 : 県立竜ヶ崎第二高等学校 / 明秀学園日立高等学校
栃木県 : 作新学院高等学校 / 県立宇都宮中央女子高等学校
埼玉県 : 山村学園高等学校 / 埼玉栄高等学校
正智深谷高等学校 / 県立浦和西高等学校
千葉県 : 昭和学院高等学校 / 船橋市立船橋高等学校 / 千葉英和高等学校
千葉経済大学附属高等学校 / 県立幕張総合高等学校
東京都 : 八雲学園高等学校 / 東京成徳大学高等学校
明星学園高等学校 / 国本女子高等学校 / 実践学園高等学校
駒澤大学高等学校 / 藤村女子高等学校 / 佼成学園女子高等学校
神奈川県 : 県立旭高等学校 / 県立市ヶ尾高等学校 / 相模女子大学高等部
横浜清風高等学校 / 県立横須賀大津高等学校
山梨県 : 富士学苑高等学校 / 県立韮崎高等学校
4. 日程 << 6月3日(金) >>
17:00 集合・受付(審判宿舎・高崎ワシントンプラザホテル)
18:00 審判会議(ホテルメトロポリタン高崎 6階)
19:30 夕食懇親会

<< 6月4日(土)競技第1日目 >>
6:30 朝食(ワシントンプラザホテル内)
7:30 審判員出発開始
9:00 競技開始(浜川体育館・中央体育館)
18:00 競技終了予定
19:30 夕食懇親会

<< 6月5日(日)競技第2日目 >>
6:30 朝食
7:50 審判出発開始
8:30 レクチャー(浜川体育館審判控室)
9:30 競技開始
15:30 競技終了

審判会議・ミーティング

日時	6月3日(金) 18:00～	会場	ホテルメトロポリタン高崎 6階
----	----------------	----	-----------------

■ 「 判定力について 」 ブロック長 : 渡邊 整 氏 (栃木)

- ・正しい判定、プレゼンテーションは信頼に繋がる
- ・四原則は『正しく見極めて判断(判定)する』ための“手段”であり、“目的”ではない
- ・今大会では『視野の確保をしながら、良い**角度(アングル)**のポジションに動く』ことが課題

■ 「 審判員のポジション取りと視野の取り方 」 指名審判員 : 茂泉 圭治 氏 (神奈川)
～ リードレフリー ～

①責任エリアのプレイは良いアングルで良いポジションに足を運ぶ

例) エリア 4-5 ポストプレイ

ローポストのスペースだけを見るのではなく、周囲のヘルプディフェンスがどこから来るのか考え、**アングルを保って動く**

②早めに動いて、待ち構える

例) エリア 3 からのドライブ

プレイと一緒に、あるいは遅れて動くことは、**良いアングルでプレイを見続ける**ことができない
コート状況やプレイの状況から判断し、早めに動き、**待ち構える**努力をする

～ トレイルレフリー ～

①責任エリアのプレイに対して、**良いアングルを保ちながら**、

(説得力のある距離まで) **良いポジションに追従**する

②始まりから最後まで責任を持って判定

③リードレフリーの動きと位置を常に意識

例) エリア 3 からのドライブ

キャッチ、抜き際、シュートなど、離れていくプレイであっても終わりまで責任持って見続ける
又、リードレフリーの動きを見て、**ペネトレイトの仕方を工夫**する

担当試合

日時・場所	対戦	審判
6月4日(土) 10:30～ 高崎浜川体育館	市立桐生商業(群馬) vs 千葉経済大附属(千葉)	R : 渡邊 整 氏 (栃木) U : 西村 明穂 (東京)

審判反省

日本協会講師 : 渡邊 亮 氏 (福島)

- ・ゲームの初めより、積極的に手の使い方を判定し続けることが出来た為、第2ピリオド以降で選手のプレイヤーの質が変わり、レベルがあがった
- ・レベルがあがったことで、自分の知らないプレイが増えた結果、予測が遅れて判定することができていない為、今後はバスケットの知識を増やし、経験を多く積んでいくことが必要である
- ・知識を詰め込みすぎたり、頭でっかちになるのではなく、今必要なこと、少し先に挑戦すること、まだ手をつけなくていいことなど取捨選択をする必要がある
- ・自分の感情コントロールも課題の一つである

審判反省 2

審判主任 : 小柳 幸子 氏 (埼玉)

- ・遅れてしまい、一つ目のプレイで間に合わず鳴らすことができなかつたとしてもプレイは続いているので、すぐに切り替えて次は絶対判定する気持ちを持つ
- ・速攻の場面において、リードレフリーの際、右からの 1on1 のスペースを捉えきれず遅れた場合は、後ろに下がるとよい
- ・走力があり、プレゼンテーションは堂々としているので今後も続け、強みにする

審判レクチャー

日時

6月5日(日) 8:30~

会場

浜川体育館審判控室

日本協会講師 : 吉橋 雅一 氏 (愛知)

バスケット競技におけるレフリーとは、規則を取り締まる“警察官”ではなく、プレイヤーたちを導き出す“オーケストラの指揮者”である。そんなレフリーにとって必要な資質は、ルールの理解や約束事だけではなく、**バスケの精神と技術の理解**が必要である。

■責任範囲(Primary)について

- ・Trail primary : ボールとその周辺を **WIDE ANGLE** で捉える

例) トップからハイポストにボールが入るときもボールマンとハイポストのスペースが見えるアングルに移動し、**WIDE ANGLE** で捉える。このとき、ボールがポストに入ったからといってすぐ目をきるのではなくカッティングプレイにも対応できるアングルを維持しておく

- ・Read primary : リードレフリーは **SETUP POSITION** からボールの動きに合わせて移動する(トップからエリア1にパス⇒ **CLOSE DOWN**)
CLOSE DOWN = **SWITCH SIDE** のための準備動作

例) エリア5-6のローポストがアクティブな状態には **SWITCH SIDE** に足を運んで Read primary が視野に入るアングルで捉える

※ **SWITCH SIDE** を控えたほうがよい3つのQ (THREE QUICKS)

①QUICK SHOT ②QUICK PASS ③QUICK DRIVE

+ ショットクロックの残りが残りわずか【4秒以下】になったとき

- ・お互いに相手レフリーの苦しいポジションと苦しいアングルを理解しておくことが必要である。

■ヴァイオレイションについて

ヴァイオレイションは記録されない為、反則の中でも比較的軽微なものであるが、

ギャロップステップ(ジャンピングペネトレイション)やスピナムーブなどプレイ(技術)の理解をしっかりとし、正しい判定を行う必要がある。

■ファウルについて

- ・ファウルを取り上げる際には“次のプレイも考えて鳴らすべき笛”と“瞬間的に鳴らすべき笛”とある。様々なゲームやシチュエーションを経験する。

・ファウルが成立する条件

接触の①事実 ②責任 ③影響 を考えて判定を行う

特に ③影響 に関しては R (RHYTHM)・S (SPEED)・B (BALANCE)・Q (QUICKNESS)のうち一つでも崩れたらファウルとして取り上げるべき。全部崩れなかったらノーコールの判定でよい。

■よりよいゲーム運営をするためのABC

A : あたりまえのことを

例) ゲームクロックを止める合図

B : ばかばかしいと思っても

ジェスチャー・ランレポートラン

C : ちゃんとやる

位置取りなど

～ 目の前のゲームを大切に、選手のために、誠実に ～

日本協会講師 : 渡邊 亮 氏 (福島)

■ゲームに臨むにあたっての考え方

・メンタルが…と思う前にやるべきことをやる。位置どりなどの出来ることを精一杯やる。

・日本人は真面目だから、悩んで止まってしまう

例)弱点はたくさんあげられるけど、自分の良いところはあげにくい

⇒ たくさん良いところをあげられるように考え方を変える

・コート上で自分を支える何かを作る

～ Rulebook in to the pocket.

On the court is Feeling & intelligence. ～

総括

今回初めて関東大会と他県への派遣の機会を頂きました。東京からの派遣審判として、自分の立場を意識しながらも、過去に自分が学び、感じ、経験してきたことを全てオンザコートで出し切ろうという強い気持ちで臨みました。今大会で一番に課題だと感じたのはレクチャーの中でもご指導頂きましたバスケの精神や技術の理解です。プレイヤーが日々、汗水流しながら努力しているのと同じように私もより多く試合会場に足を運び、様々なゲームを経験し、自身の技術向上を目指したいと思います。

また、関東の審判員の方と3日間共にし、交流を深めることが出来たり、審判を見ることができ、とても刺激になりました。これを今後を活かし、ステップアップしていきたいと思います。

今大会にあたり、開催県の菊地審判長をはじめ、群馬県の皆さまには大変お世話になりました。感謝申し上げます。また、ご指導頂きました日本協会講師の吉橋雅一氏・渡邊亮氏をはじめ、関東の審判員の皆さま、派遣して頂いた東京都の久保委員長はじめ、東京都の審判員の皆さまにこの場を借りまして、重ねてお礼申し上げます。有難うございました。